

RES320 質的調査法 (J)

3年 1,2クォーター

担当教員 伊藤 勇, 田中 志敬

授業形態 講義

アクティブ・ラーニング 一部導入

単位数 2

曜日・時限 月曜日・3時限

授業概要

質的データの収集や分析方法に関する基礎的学習として、半構造化インタビュー、非構造化インタビュー、参与観察、ライフヒストリー分析、ドキュメント分析などの主要な手法について、各手法の特長と限界、実地利用上の留意点を学ぶ。

(伊藤 勇/10回) 上記の各手法について、社会学史上の著名な調査の実例に即して、手法の特長と限界、実地利用上の留意点を学ぶ。

(田中志敬/5回) 都市コミュニティ調査における参与観察や聞き取り調査の実例に即して、参与観察および聞き取り調査における調査項目の立て方、質的データ収集の要領、調査協力者との関係の取り方など、実査における諸要点を学ぶ。

到達目標

- ・主要な質的調査法および質的データ分析法に関する基礎知識を得る。
- ・自分でも質的インタビューなどを実施できるようになる。

先修科目

- ・リサーチ入門 (J)
- ・社会調査論
- ・社会学概論
- ・都市コミュニティ論

教科書・参考資料等

参考書：大谷信介ほか『新・社会調査へのアプローチ』ミネルヴァ書房、2013年、
谷富夫・芦田徹郎(編)『よくわかる質的社会調査技法編』ミネルヴァ書房、2009年、
谷富夫(編)『新版ライフヒストリーを学ぶ人のために』世界思想社、2008年など。

授業の方法

講義形式の授業だが、一方通行の授業を避けるため、受講者全員に毎回短い感想メモを提出してもらう。

成績評価

成績評価には、①毎回提出する授業の感想メモ、②中間レポート、③期末レポート、計3種類の提出物を用いる。

成績

- 修学態度 (①) 20%
- 中間レポート (②) 30%
- 期末レポート (③) 50%

授業スケジュール

第1回： ガイダンスおよび序論

授業の概要・進め方・成績評価法の説明、序論：社会調査における質的調査の位置、量的調査と質的調査の相補性、質的調査法および質的データ分析法の種類

第2回： 質的インタビュー（1）

質的インタビューの基本視点，半構造化インタビューと非構造化インタビュー，テーマ設定からリサーチ・クエスチョンへ，質的インタビューを用いた調査例の紹介（マートン『大衆説得』）

第3回： 質的インタビュー（2）

対象者選択の基準と方法，質問項目・シナリオ・インタビューガイドの作成，半構造化インタビューの実例の紹介と解説（細谷昂他『農民生活における個と集団』）

第4回： 質的インタビュー（3）

インタビュー実施における留意点，インタビューの記録法，トランスクリプトの作成と分析

第5回： 参与観察（1）

参加と観察，参与観察の要点，参与観察を用いた調査例の紹介（ホワイト『ストリート・コーナー・ソサイエティ』）

第6回： 参与観察（2）

調査対象との関係問題，フィールドノーツの取り方の基本，フィールドノーツからの知見の導出，参与観察を用いた調査例の紹介と解説（ベッカー『アウトサイダーズ』，ベッカー他『白衣の青年たち』）

第7回： ライフヒストリー分析（1）

ライフヒストリーとは，ライフヒストリーとライフストーリー，ライフヒストリー分析の要点，ライフヒストリー分析の古典（ショウ『ジャック・ローラー』）の紹介と解説

第8回： ライフヒストリー分析（2）

ライフヒストリー・インタビュー実践上の要点，ライフヒストリーの解釈・分析から類型と仮説の形成へ，日本におけるライフヒストリー分析例（中野卓『口述の生活史』，庶民生活史研究会『同時代人の生活史』等）の紹介。

第9回： ドキュメント分析（1）

ドキュメント分析とは，個人的記録と公的記録，個人的記録への着目と活用，ドキュメント分析の古典（トーマス&ズナニエツキ『ポーランド農民』）の紹介と解説

第10回： ドキュメント分析（2）

経験の主観的意味づけ，経験の社会的文脈・社会構造との関連，ドキュメント分析の活用例（見田宗介「現代における不幸の諸類型」）の紹介と解説

第11回： 都市コミュニティ調査における質的インタビュー（1）

調査対象の選択，対象者へのアプローチ，インタビューの際の事例紹介と解説

第12回： 都市コミュニティ調査における質的インタビュー（2）

調査内容の記録化，分析，記述，調査対象者への内容確認の事例紹介と解説

第13回： 都市コミュニティ調査における参与観察（1）

参与観察の際の対象地への入り方，関係者との関係構築過程の事例紹介と解説

第14回： 都市コミュニティ調査における参与観察（2）

参与観察の際の記録化，分析，記述，関係者への内容確認の事例紹介と解説

第15回： まとめと課題

講義全体の振り返り，期末レポートの課題説明

事前・事後学習

- ・ 予習：教科書および参考資料の該当する章を予習してくること（1時間程度）。
- ・ 復習：授業内容を復習し、疑問点を整理すること（1時間程度）。